

地域おこし協力隊員 4名が退任

お世話になりました
これからもよろしくお願いします



左から、石田隊員、星野隊員、細田隊員、新川隊員

平成29年度に着任した4名の地域おこし協力隊員が3月末日をもって退任しました。退任後も町の地域発展のためにさまざまな活動に取り組む予定ですので、引き続きよろしく願います。

退任のあいつつ

○石田 多朗

東京から那須町に移住し、協力隊の仕事をはじめから2年10カ月、隊員として取り組んできたさまざまな活動をとおして、色々な経験をさせていただきました。

音楽に関する講座、小さな音楽の教室、保育園での楽器を作るワークショップ、豊原駅舎改修を記念した「豊原駅の歌」のプロデュースと作曲、町の統廃合された小中学校の校歌の伴奏音源の作成・楽譜の作成・レコーディング・編集、現行の小中学校の校歌の録音・編集等々、音楽をとおして参加をさせていただきました。音楽や芸術というものは、数字のように目に見えて成果を出すことが難しいものです。そういうものであるにも関わらず、「音楽によつて町に貢献する」という目的を最後まで任せていただけたことをとてもうれしく、また、光栄に感じています。

任期終了後は、町に音楽事務

所・スタジオを設営し、運営を本格的に開始します。これからは、立場こそこれまでとは少々変わりますが、これまで通り、音楽を通し、少しでも町を、そしてこの世の中を良くすることを目標に生きていきたいと考えています。

○星野 瑞季

町民の健康増進につながる活動をする中で2年8カ月という歳月はとても短い期間でした。着任後地域になじめるように活動に誘ってくれた方、役場に講師依頼を問い合わせしてくれた方、同じ志を持つ仲間たちの存在のおかげで、すぐに活動を展開することができ、休む暇がないほど活発に過ごさせていただきました。町民の多くの方々にこの場を借りて、お礼を申し上げます。

「健康と地域」には一見つながりのないような事柄に見えますが、健康な心身は全ての原動力になります。闇夜を照らす一本のロウソクのような人がいたら周りを照らして明るくしてくれる。そんな人がたくさんいたら明るい地域になるのではないのでしょうか。

任期終了後も尊い縁と人生の中で自分ができることを日々坦々と感謝して行いたいと思っています。5月、7月、9月に子育て支援センターで和みのヨガ教室の開

催が決定しています。今後も町を中心にさまざまな場所で活動をしていきます。

○細田 美緒

私が町に隊員としてやってきて2年7カ月が過ぎました。当初は隊員として、この町でジビエをやりたいと思っていました。昨今のジビエブームの中、町のブランドの強さと東京から数時間という便の良さがあれば、きちんとした加工とブランディングを行えば那須ジビエはよい町おこしになるのではないかと思っていました。しかしながら放射能の影響は未だ色濃くジビエは断念することになりました。現在は超新米猟師として、わなをかけたったり銃猟に参加したりしています。

ジビエを断念した2年目からは「Nasu & Bread」という名前が地元素材だけを使ったパン作りを行っていました。地産地消のパン屋というどこにでもありそうなものですが、那須の素材だけを使い、那須の豊かな自然の魅力を表現したパンは、一種独特なパンとして全国のお客さまから注目していただけたと思います。現在、パン作りの活動は休止していますが、今年のうちには町内にきちんとしたお店を作つて再開する予定です。

○新川 真己

協力隊に着任してから早くも2年6カ月が過ぎ、振り返ってみると、音楽やコーヒーイベントの開催、東京で那須野菜をメインとした飲食店の立ち上げや那須野菜の販売、鳥獣被害対策関連等、町民の皆さまに協力いただきながら多種多様な事業に携わらせていただきました。

中には計画途中で頓挫したり継続が難しくなったりした事柄もありましたが、それらを含め大変貴重な経験をさせていただいたと実感しています。

物事を始める上で大切なのは「継続すること」と考えています。今後も町に住みながら那須の魅力や伝えていく事業を継続する予定です。具体的には、那須食材を使った飲食店を新しく東京でオープンすること、那須野菜の産直市を継続開催すること、そして、同じコンセプトで芦野の地で飲食店をオープンすることを予定しています。

また、町で空き倉庫を仲間とリノベーションし、老若男女問わず集えるようなスペースを作り始めています。引き続き那須の良さをPRする事業を継続していきます。